

「DNPグループ環境ビジョン2050」達成に向けた取り組み

DNPは、「DNPグループ環境ビジョン2050」に掲げる「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けて、中期目標を設定しています。

2030年までのGHG排出量削減目標について、DNPは2018年に「2℃水準」としてSBT認定を取得しました。その後、削減活動に注力し、前倒して目標の達成が見込まれたため、2021年3月により厳しい目標に変更しました。この目標は2021年4月に「well-below2℃」水準として、SBT認定を更新しています。

GHG削減目標：2030年までに2015年度比40%削減(SBT認定)

施策		中期目標		ありたい姿
バックカスティング				
項目		2025年目標	2030年目標	2050年
GHG排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ活動・高効率機器への更新 事業ポートフォリオの転換 再生可能エネルギーの導入 		GHG排出量を 2015年度比40%削減	脱炭素社会
輸送環境負荷削減	<ul style="list-style-type: none"> 低排出量車の導入 混載やモーダルシフトの拡大 	輸送燃料使用量売上高原単位を 2015年度比15%削減		
環境配慮製品・サービスの売上高拡大	<ul style="list-style-type: none"> 環境貢献製品の開発促進 リサイクルしやすい製品の開発促進 	スーパーエコプロダクツの 総売上高比率を10%に拡大		循環型社会
資源循環率向上	<ul style="list-style-type: none"> 不要物の最小化 リサイクルの促進 最終処分場利用率の最小化 	資源循環率 ※1 を 2015年度比5ポイント改善 ゼロエミッション維持		
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> 水の効率的利用 	水使用量売上高原単位を 2015年度比35%削減		自然共生社会
VOC排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> 脱臭装置の維持管理 	2015年度レベルを維持		
環境保全 ※2	<ul style="list-style-type: none"> 傾向管理による基準値遵守の徹底 	規制基準の70%以下を維持		

DNPグループ環境ビジョン2050

DNPは、持続可能な社会の実現に向け、P&Iイノベーションによる新たな価値の創出により「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を目指します。

【脱炭素社会(気候変動の緩和と適応)】

- ・ 自社拠点での事業活動にともなうGHG(温室効果ガス)排出量実質ゼロを目指します。
- ・ 製品・サービスを通じて脱炭素社会の構築に貢献していきます。

【循環型社会(資源の効率的利用)】

- ・ バリューチェーン全体で資源を効率的に利用し循環させることで、最大限の価値を提供します。

【自然共生社会(生物多様性の保全)】

- ・ バリューチェーン全体での生物多様性への影響の最小化と、地域生態系との調和を目指します。

※1 資源循環率：100%リサイクルしている紙有価物を除外した不要物(廃棄物+有価物)のうちマテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた割合。
焼却での熱回収、廃プラスチック類の固形燃料化、廃油の燃料化などはサーマルリカバリーとしリサイクルから除外。

※2 環境保全項目：大気、排水、臭気、騒音、振動